



第38回

北信越国民体育大会



銃剣道プログラム

《期間》平成29年8月19日土~20日日 《場所》福井県立武道館 多種目競技場

主催／(公財)日本体育協会・福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会
長野県教育委員会・(公財)福井県体育協会・(公財)新潟県体育協会・(公財)石川県体育協会・(公財)富山県体育協会・(公財)長野県体育協会

共催／会場地市町・会場地市町教育委員会 後援／スポーツ庁 主管／(公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

スポーツ精神とは、自らスポーツを行うことに意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的かつ継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことである。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若 力 …………… 1	諸 会 議 日 程 …………… 8
新 福 井 県 民 歌 …………… 1	競 技 日 程 …………… 9
あ い さ つ …………… 2	組 み 合 わ せ 表 …………… 9
お 祝 い の 言 葉 …………… 3	監 督 ・ 選 手 名 簿 …………… 9
あ い さ つ …………… 4	競 技 上 の 規 定 ・ 試 合 方 法 …………… 10
歡 迎 の こ と ば …………… 5	成 績 一 覧 表 …………… 11
競 技 会 役 員 …………… 6	銃 剣 道 競 技 の 見 方 …………… 13
競 技 役 員 …………… 7	競 技 会 場 案 内 図 …………… 16
式 典 次 第 …………… 8	宿 舎 ・ 大 会 本 部 等 …………… 17

若 い 力

日本体育協会選定
佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

一、若い力と
燃えよ若人
胸を張れ

感激に
ユニフォーム
花が散る
希望にみちて
強き者

二、薫る英気と
瞳あかるい
スポーツマン
純情に
君のもの
虹が立つ
熱こそいのち
強き者

新福井県民歌

三好達治 作詞
小松長生 作曲

一 長江は野に横たはり
青海は岬にうたふ
国どころ越前若狭
たたなはる山しうるはし

二 秋の日の垂り穂ゆたかに
いや足らふ海のいろくづ
機杼の音も幸はふ
うまし国越前若狭

三 こゝにして新しき世は
ふるき世に替わりて興る
あなさやけ天つ日のもと
新墾の道はるかなり

たたなはる (重なりあって連なる)	足らふ (十分である)
いろくづ (魚のうろこ、魚)	幸はふ (豊かに栄える)
あなさやけ (とても清らかだ)	新墾 (新しく開墾する)

あ い さ つ



第38回北信越国民体育大会 会長
公益財団法人福井県体育協会 会長
福井県知事 西川 一 誠

第38回北信越国民体育大会が北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、福井県において盛大に開催されますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、郷土の代表としての誇りを胸に、今年開催の「愛顔つなぐ えひめ国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

選手の皆様には、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応えるとともに、地域の人たちとの友情の輪を大きく広げていただき、思い出に残るすばらしい大会となりますよう祈願しております。

本県では、来年開催される第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体・障スポ」に向けて、県・市町の競技会場の整備を進めており、メイン会場となる福井運動公園では、県営体育館や県営テニス場が完成し、本年4月に供用を開始しました。さらに、県民総参加で、全国から多数の選手、役員の皆様に温かくお迎えし、心のこもったおもてなしをする準備を進めるとともに、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技を開催するなど、国民体育大会と障害者スポーツ大会の「融合」を広くアピールしていきたいと考えています。北信越各県の皆様におかれましてもご支援・ご協力をお願いします。

また、県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、豊かな自然の中で育まれた福井県の食をご堪能いただくとともに、永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡など本県の歴史や文化の魅力に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。

お祝いの言葉



福井県議会議長 松田 泰典

第38回北信越国民体育大会が、北信越5県の代表の選手や関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを、地元 福井県議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

皆様には、日ごろから、スポーツの振興に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、スポーツを通して明るい社会づくりに貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

本大会は、第72回国民体育大会（愛媛国体）への出場権をかけて行われ、北信越地区では最も権威のある大会であります。選手の皆様には、日ごろ鍛えられた力と技を十分に発揮され、輝かしい成果を収められることを期待しております。

福井県は、豊かな自然や歴史、多彩な伝統工芸や美しい和食文化に恵まれ、また、子どもたちの学力・体力や県民の幸福度も全国トップクラスの評価を受けております。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、福井の魅力を満喫していただければ幸いに存じます。

来年の第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」は本県での開催となります。必要な施設や環境の整備も順調に進んでおり、県外からのお客様をお迎えする準備も、県民一丸となって盛り上げてまいります。来年、皆様方とここ福井で再びお会いできることを念願しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた役員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、大会にご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



福井県銃剣道連盟 会長
衆議院議員

稲 田 朋 美

第38回北信越国民体育大会銃剣道競技が、北信越各県の選手、監督および役員の方々をお迎えてここ福井県で盛大に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

併せて、日頃より銃剣道の普及・発展や青少年の健全育成に熱心に取り組んでおられます関係各位のご尽力に心より感謝と敬意を申し上げます。

銃剣道は、古来伝統武道の真髄を継承しつつ現代の武道として発展した近代的スポーツであり、その精神と私の政治信条「伝統と創造」との間には深く通じ合うものを感じます。

私も、銃剣道と修練の目標を同じくする剣道の経験者として、「誠実」「礼節」「勇気」「質実剛健」「克己心」等を常に心に留め、自身の鍛錬とともに今後も銃剣道の普及・発展に努めてまいります。

選手の皆様におかれましては、郷土の代表としての誇りをもって、日頃鍛えた心・力・技を十分に発揮され、勝利に向けて全力を尽くされますようご祈念申し上げます。

また、他県からお越しの皆様方には、ぜひ福井の美しい自然、美味しい食、多彩な歴史文化等を満喫していただき、福井を身近に感じていただきたいと思います。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係の皆様方に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘とご活躍を心よりお祈り申し上げ、あいさつとさせていただきます。

歓迎のことば



福井市長 東村 新一

第38回北信越国民体育大会が、福井市において盛大に開催されますことをお喜び申し上げます。そして福井市民を代表しまして、北信越各地からお越しになられた選手・監督、並びに関係者の皆様を心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の代表選手が郷土の誇りと期待を背に、愛媛県で開催されます「愛顔^{えがお}つなぐえひめ国体」の出場権獲得を目指し競い合う、北信越最大のスポーツの祭典であります。また、来年は「福井しあわせ元気国体」の開催が控えており、そのプレ大会もかねている競技もございます。

どうか、選手の皆様には、日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮していただき、レベルの高い熱戦で、「夢」と「感動」を与えてくださることを期待しております。

また、昨年県都の玄関口に新たなランドマークとして福井駅西口再開発ビル「ハピリン」がオープンしました。この施設には本市が誇る美味しい食材や特産品などを多数取りそろえる観光物産コーナーもございますので、大会後には、是非ともお立ち寄りいただき、福井の恵みをご堪能いただければ幸いです。

最後になりましたが、本大会の成功と、選手の皆様の今後ますますのご活躍を祈念申し上げまして歓迎のことばとさせていただきます。

競 技 会 役 員

名 譽 会 長	東村 新一			
会 長	稲田 朋美			
副 会 長	北條 雄一	紐野 義昭	本郷 一彦	濱谷 隆平
顧 問	松田 泰典	吉井 正雄	東村 健治	稲田 朋美
	北条 雄一	紐野 義昭	本郷 一彦	濱谷 隆平
	小寺 修司	楯 貞夫	布村 修	村上 健悟
	木村 恒之	荻原 昭人		
参 与	後上 隆	桑原 義喜		
委 員 長	桑原 義喜			
副 委 員 長	長谷川 元	山田 正雄	加藤 福蔵	後上 隆
委 員	坪田 立義	縣 晴巳	増田 宇秀	長谷川 元
	井畠 大	中村 定市	小林 七郎	水江 延久
	三田村則昭	橋本 貴裕	高島 潤平	小島 甚作
	岡崎 義和	朝日 勝	林 豊昭	遠藤 隆
	角谷 義弘	河野 博	吉村 哲一	

競 技 役 員

競技委員長	稲田 朋美			
競技副委員長	長谷川 元(新潟県)	山田 正雄(石川県)	加藤 福蔵(富山県)	
	後上 隆(長野県)	桑原 義喜(福井県)		
審判長	三田村則昭(福井県)			
審判員	松田千眞男(長野県)	井島 大(富山県)	深江 安男(富山県)	
	北村 義宏(新潟県)	山田 正雄(石川県)	高柳 陽一(石川県)	
	吉川 俊彦(福井県)	角谷 義弘(福井県)	水江 延久(福井県)	
指導普及係	増田 宇秀			
総務係	朝日 勝	内田 一也	上田 哲	
進行係	小島 甚作	石丸翔太郎	寺西 義美	
会場係	岡崎 義和	江藤 稜太	林 寛泰	
記録係	山田美登志	寺下 泰貴		
放送係	山口 利一			
時計係	町矢 芳夫	町矢 紘一		
救護係	橋本 芳乃	清水 光代		
補助役員	清水 那浩	朝日 美香		
補助員	武道学園講師5名			

式典次第

【開 始 式】

期日 平成29年8月20日（日）
時間 9時00分～
場所 福井県立武道館多種目競技場

【表 彰 式】

期日 平成29年8月20日（日）
時間 試合終了後
場所 福井県立武道館多種目競技場

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開式通告
- 3 競技開始宣言
- 4 国家斉唱
- 5 福井市市長挨拶
- 6 競技会会長挨拶
- 7 歓迎の言葉
- 8 審判長注意
- 9 選手宣誓
- 10 競技開始

次 第

- 1 選手団整列
- 2 開式通告
- 3 成績発表
- 4 表彰状授与
- 5 講評
- 6 閉会の挨拶
- 7 協議終了宣言

諸 会 議 日 程

会 議 名	期 日	時 間	場 所	電 話 番 号
監督・審判会議	8月19日（土）	17時00分	福井県立武道館	0776(26)9400

競 技 日 程

開始式	平成29年8月20日(日)	9時00分～
表彰式	平成29年8月20日(日)	試合終了後

競技組み合わせ表

5チームリーグ戦

試合開始 9:30 試合終了 12:00

試合順序	県別	1 長野	2 新潟	3 石川	4 富山	5 福井	勝点 (本数)	順 位
①1-5	1 長野	/						
②2-3			/					
③1-4	2 新潟			/				
④2-5					/			
⑤3-4	3 石川					/		
⑥1-2							/	
⑦3-5	4 富山							
⑧2-4							/	
⑨1-3							/	
⑩4-5	5 福井							
<ul style="list-style-type: none"> ・組み合わせは、抽選とし番号を付ける。 ・代表戦は、銃剣道競技規程による。 								

第72回国民体育大会 北信越ブロック代表数 1

監 督 ・ 選 手 名 簿

県名	監督	先鋒	中堅	大将
長野県	—	—	—	—
新潟県	長谷川 元	長谷川 慶	武石 光博	丸山 航平
石川県	中村 定市	望月 大輝	附田 健作	松岡 克哉
富山県	濱谷 隆平	中井 公大	舟崎 未希也	中井 智大
福井県	桑原 義喜	久所 朋生	高野 準也	清水 亮弥

競技上の規定及び試合方法

1. 1チーム3名（先鋒、中堅、大将）とし、試合方法はリーグ戦とする。
2. 勝負は3本勝負、試合時間は5分、延長2分とし、勝負が決しない場合は判定による。
3. 順位の判定は、勝ち数による。勝ち数が同数の場合は、直接の勝敗による。直接の勝敗でも順位が決定しない場合、勝ち本数による。勝ち本数が同数の場合は、代表決定戦による。代表決定戦は、チームごとフリーとする。
4. 代表戦は、一本勝負とし、試合時間は5分、延長2分毎で勝負が決まるまで行う。
5. 審判方法
3人制とし、銃剣道試合、審判規則及び細則による。

成績一覽表

回・年度	優 勝		
	県名	監督	選手
第1回昭和55年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関峯 雪 ・ (初)高橋 隆司 (初)坂井 英治
第2回昭和56年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)関峯 雪 ・ (初)金子 淳 (初)菅原 辰広
第3回昭和57年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第4回昭和58年度	石川	5段 元雄 佳広	(2)元雄 善和 ・ (2)杉本 実 (2)村井 雅彦
第5回昭和59年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)豊崎 堅一 ・ (初)角田 清志 (初)高野 重幸
第6回昭和60年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(2)角田 清志 ・ (2)安彦 勉 (2)吉田 猛
第7回昭和61年度	石川	7段 橋本 博	(初)小野 憲幸 ・ (初)朝倉 健史 (初)小橋 実
第8回昭和62年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第9回昭和63年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(2)込山 勝時 ・ (2)東城 清 (2)五十嵐正志
第10回平成元年度	長野	6段 井口 喜八	(2)手塚 佳徳 ・ (2)百瀬 典昭 (2)熊谷 敦徳
第11回平成2年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (2)中村 克行
第12回平成3年度	新潟	7段 佐々木 正彦	(初)丸山 育男 ・ (初)新保 正春 (初)野崎 和也
第13回平成4年度	石川	無段 橋本 浩照	(3)森元 誠 ・ (2)中村 友和 (3)長瀬 光宜
第14回平成5年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)坂井 剛志 ・ (2)稲塚 勝彦 (2)田中 幸一
第15回平成6年度	富山	6段 斎藤 良隆	(2)国井 稔 ・ (初)神能 貴典 (2)林 朋紀
第16回平成7年度	富山	6段 斎藤 良隆	(初)広瀬 敬久 ・ (2)国井 稔 (2)林 朋紀
第17回平成8年度	富山	7段 斎藤 良隆	(2)小西 孝典 ・ (3)神能 貴典 (3)広瀬 敬久
第18回平成9年度	福井	8段 桑原 義喜	(初)内田 一也 ・ (初)木藤 洋介 (初)谷口 裕規
第19回平成10年度	富山	7段 深江 安雄	(2)鞍馬 克宏 ・ (初)鞍馬 孝之 (初)小塚 久雄
第20回平成11年度	富山	7段 深江 安雄	(初)中保 竜也 ・ (3)鞍馬 克宏 (2)小塚 久雄
第21回平成12年度	新潟	6段 長谷川 三男	(2)堀江 幸喜 ・ (初)森田 幸尚 (2)原田 亮
第22回平成13年度	富山	7段 橋本 峰雄	(2)野口 昭 ・ (2)西野 義嗣 (2)北 知治
第23回平成14年度	富山	8段 富田 文春	(3)野口 昭 ・ (3)西野 義嗣 (初)明和 史恭
第24回平成15年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)前山 敬史 ・ (2)渡邊 亨介 (初)小林 大祐
第25回平成16年度	石川	6段 山田 正雄	(初)中村 史也 ・ (初)坂口 慶太 (初)古谷 圭遼

回・年 度	優 勝		
	県 名	監 督	選 手
第26回平成17年度	石川	8段 山田 正雄	(初)大川 翔平 ・ (初)坂口 慶太 (初)吉谷 圭遼
第27回平成18年度	石川	6段 小田 晃平	(初)奥野 功章 ・ (初)田寛 雄大 (初)尾上 健司
第28回平成19年度	石川	7段 小田 晃平	(初)小堀 裕和 ・ (2)松木 大輔 (2)中村 栄宏
第29回平成20年度	新潟	6段 丸山 育男	(2)近藤 史章 ・ (初)児玉 恭平 (初)棒 論
第30回平成21年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)吉田 翔 ・ (2)永井 一登 (初)正木 登
第31回平成22年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)山田 剛弘 ・ (初)棒 論 (初)児玉 恭平
第32回平成23年度	石川	7段 高柳 陽一	(初)北村 雅之 ・ (3)渡辺 一矢 (3)佐藤 悠太
第33回平成24年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)大谷 竜輝 (初)渡邊 健斗
第34回平成25年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)高井 洸太 ・ (初)渡邊 健斗 (初)大谷 竜輝
第35回平成26年度	新潟	6段 佐々木 正彦	(初)野口 将史 ・ (初)高橋 駿平 (初)高井 優樹
第36回平成27年度	新潟	7段 長谷川 元	(初)野口 将史 ・ (初)村上 周太郎 (初)武石 光博
第38回平成29年度			

銃剣道競技の見方

1. 銃剣道競技とは？

「銃剣道の由来」

銃剣道は、わが国の伝統的古武道の一つである槍（やり）の突き技を源流とした武道です。史実によると、上野の東京国立博物館所蔵の宝蔵院流槍術秘事「寛政10年4月、早川長左衛門手記」を主体に、その他の槍術流派では佐分利流・疋田流・貫流等が研究対象になり、その秘術を余す処なく取り入れるとともに、槍術や剣道の理合い等を合わせて研究を重ね、日本人の体格や性格に最も適合した純日本武道として、明治25年（1892年）集大成されたものです。

銃剣道は、突き技を中心とした単純な動作ですから会得するまでは容易ですが、奥義を極めようとするには懐（ふところ）の深い武道です。

「国民スポーツとしての銃剣道」

社団法人 全日本銃剣道連盟は、文部科学省及び（財）日本体育協会の傘下にあつて、武道としての心身の鍛錬を通じて気力・体力を育成する体育的效果と競技力を高めるスポーツの効果並びに健全な精神的資質（誠実・礼節・信義・勇氣・質実剛健・克己心）を養い、国民スポーツとして品位高尚な人間形成を図っています。

連盟が求めている銃剣道は、「やって楽しい・見て楽しい銃剣道」を目指し、洗練された品格のある技の駆使と、公正・的確な審判により「判り易く、スピーディーで、美しい」試合を具現することにあります。

「美しい」とは、常に相手に敬意を払い、礼に始まり礼に終わる礼儀正しい態度、勝って奢らず、負けて悪びれない爽やかな態度、理合いに叶った突き技を駆使し正面から勝負に挑む正々堂々たる態度であり、躰・マナーを欠き粗野で荒々しい試合は厳に戒め、常に明るく、正しく、強く、逞しいものを求めています。

「国民体育大会の参加」

昭和31年全日本銃剣道連盟が結成され、青少年への健全なスポーツ活動への普及に努め、小・中学校・高校生及び大学生のクラブ活動、成年の社会体育活動等に普及発展し、昭和48年に日本体育協会の加連盟競技団体となり、昭和55年の国民体育大会（栃木）から、国体の正式種目となり、広く国民スポーツとして発展してきております。

2. 銃剣道競技の試合の見方は

銃剣道は木銃を用いて相手の「左胸部」と「のど」突いて勝敗を競う競技です。

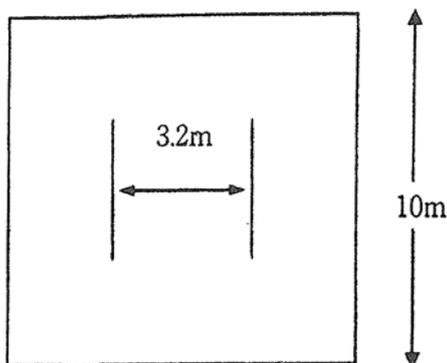
試合で一本となる主な有効突き部位は、相手の左拳の上部から左胸部を突く「上胴（うわど）」、相手の左拳の下部から左胸部を突く「下胴（したど）」、相手の喉を突く「のど」でそのほかに相手の姿勢が崩れた時に突く「左肩」や「正面胴」、相手が左腕で左胸部を隠した時に突く「左小手」も有効な突き部位となります。

銃剣道は突き技のみで打ち技は無く、相手の木銃を払う技以外は禁止されています。

試合で一本となる「有効突き」とは、充実した氣勢・正しい姿勢で有効突き部位を剣筋を正しく突き、木銃を引き抜いた後に残心（油断のないこと）のある気・剣・体の一致した技でなければなりません。

[試合場]

板張りの床（武道館又は体育館）に縦・横10メートルの正方形の「区画線」を設け、その中心点からそれぞれ1.6メートルの位置に「試合開始線」を表示します。区画線の外を「場外」といい、試合中に場外に出ると反則になります。



3. 勝ち負けはどのように決まるか

3人の審判員が赤・白の審判旗で「有効突き」を表示（認めた方の旗を斜め上にあげる）し2人以上の審判員が挙げた場合に1本となり、2本先取りした方が勝ちとなります。

ただし、1本を取り試合時間（5分）が終わったときは、1本を取っている方が勝ちとなります（1本勝）。試合時間（5分）内に勝負が決しない場合は、延長2分の試合を続け1本先取した方を勝とします。ただし、決勝戦は延長で勝敗が決しない場合、再延長2分を2回まで行います。延長時間内に勝敗が決しない場合は、3人の審判員の「優劣の判定」により勝敗を決めます（判定勝）。

[審判員の表示と有効突きの判定]

「有効突き」：有効と認める。(○)
[旗を斜め上にあげる]

「無効」：有効と認めない。(×)
[旗を体の前下で左右に振る]

「棄権」：分からない。(△)
[旗を体の前下で交差し止める]

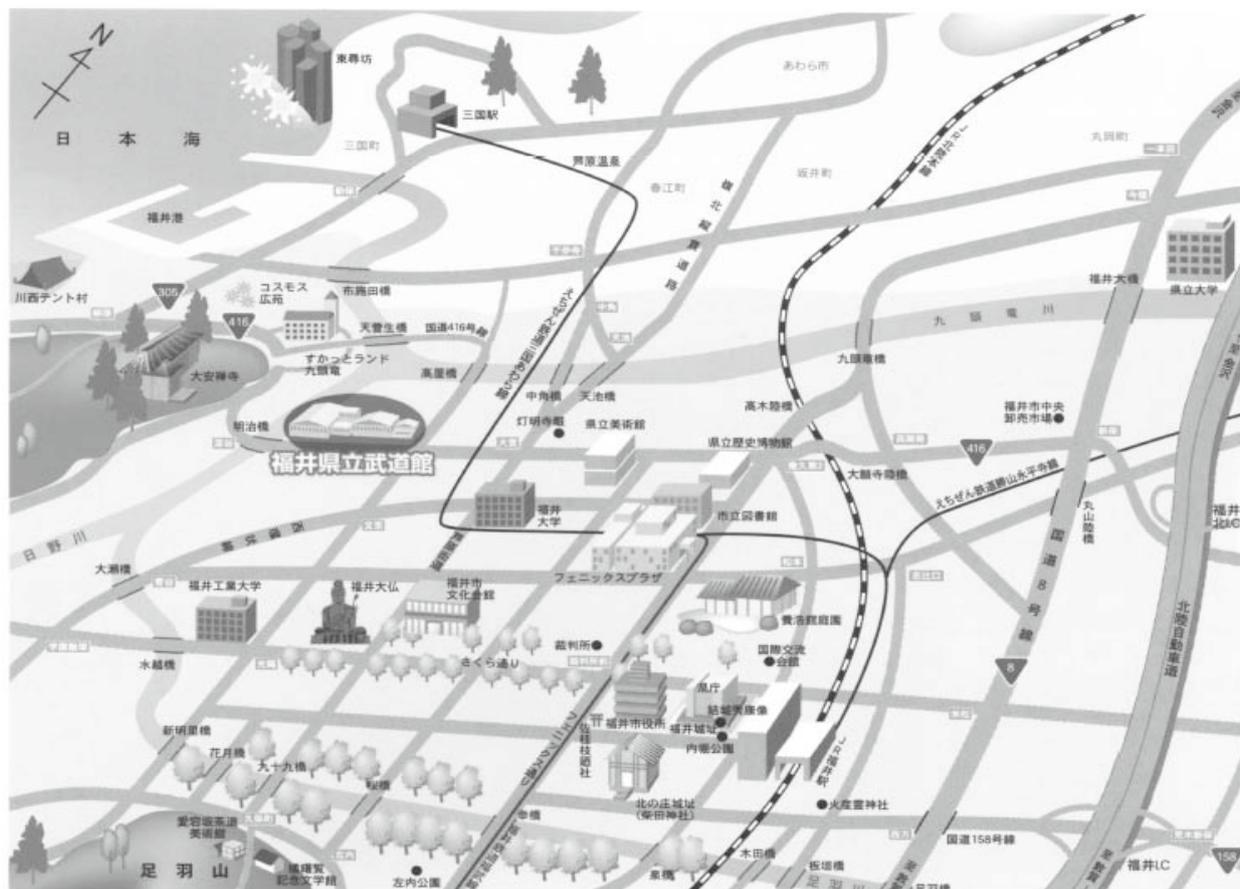
審判員の表示			判 定
○	○	○	1本となる
○	○	×	同 上
○	○	△	同 上
○	△	△	同 上
○	×	△	1本にならない
○	×	×	同 上

[反 則]

試合を公正に行わせるため、禁止事項があり、これを犯したときは「反則」とし、1試合中に反則を2回犯すと相手に1本を与えます。

反則事項は、両足とも場外に出る（場外行為）、相手を不当に場外に押し出す（不当な押し出し）相手に手をかけたり足をかけたりする（手がけ・足掛け）、木銃で相手の身体を打つ動作（危険行為）、相手の木銃を握る（木銃握り）、木銃を落とす（木銃落し）、木銃の規定外のところを握った構え（不正握り）、試合者が接近し10秒以上離れようとしない（接近長し）などがあります。

競技会場案内図



■交通案内

バス：JR福井駅前(市内バス)3番のりばから

川西・三国線「武道館前」下車 [所要時間:約15分]

鮎川線「三ツ屋」下車 [所要時間:約15分]

車：福井北I.Cから西へ約10km [所要時間:約20分]

■問合せ

〒910-0039 福井県福井市三ツ屋町8-1-1

福井県立武道館

TEL:0776-26-9400

宿 舎 一 覧 表

県 名	宿 舎 名	所 在 地	電 話
石 川	福井パレスホテル	〒910-0023 福井市順化1丁目5-18	0776-23-3800
富 山			
長 野			

競技会本部・記録本部

福井県立武道館

〒910-0039 福井市三ツ屋町8-1-1
電話 0776-26-9400
FAX 0776-26-9401
増田 宇秀

救 急 指 定 病 院

福井市休日急患センター

福井市城東4-14-30 TEL 0776-22-2099

大 会 本 部

第38回北信越国民体育大会実行委員会事務局
福井市福町3-20 公益財団法人福井県体育協会内
TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742

